

汚染水対策、今後の取り組み概要

2018年3月26日

The logo for TEPCO (Tokyo Electric Power Company) is displayed in red, bold, uppercase letters. A thick red horizontal line is positioned below the logo.

東京電力ホールディングス株式会社

汚染水対策、今後の取り組み概要

- ◆ 汚染水発生量は2017.12以降の平均では約140m³/日まで減少しており、渇水期の参考データではあるものの、中長期ロードマップ記載の2020年内の目標である150m³/日を現時点で下回っている。
- ◆ しかしながら、汚染水対策はたゆまなく進めていくものであることから、陸側遮水壁等を維持管理していく事に併せて、今後も建屋滞留水・サブドレン稼働水位の低下、建屋屋根・フェーシングによる雨水対策等に継続して取り組み、一層の汚染水発生量の低減に努めていく。
- ◆ 陸側遮水壁に関しては、下記取り組みを実施する。（資料-1,2）
 - ・ 陸側遮水壁は、一部区間で実施している維持管理運転について、今後、範囲を拡大していくと共に、未凍結の深部3箇所を対象に、温度状況を踏まえ補助工法による凍結促進を実施する。
- ◆ その他の対策に関しては、下記取り組みを実施する。（資料-3）
 - ・ サブドレンについては、引き続き、既設ピットの復旧および新設ピットの増強等を進める。
 - ・ 陸側遮水壁（海側）の東側～T.P.+2.5m盤までのエリアで実施中のフェーシングを加速する。（建屋近傍は今後検討）
 - ・ 建屋開口部への屋根掛け等を実施し、2020年度上期までに雨水浸透防止対策を進める。
 - ・ 一時的な建屋流入量の増加については、大雨時の雨水流下経路の調査や排水設備の整備等について検討する。